

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名:大分県 土木建築部 都市計画課

事業の名称:杵築都市計画道路事業 3・4・4号

宗近魚町線

実施都市名:大分県

事業目的

宗近魚町線は、杵築市の東西を結ぶ都市計画道路であり、沿線は商店街を形成しているが、現道5～6mと狭く、歩行者や自動車が混在し、大変危険な状況であるため、当区間を整備することによって都市基盤の整備と地域活性化を図るものである。

事業概要

事業名：杵築都市計画道路事業 3・4・4号 宗近魚町線

路線名：宗近魚町線

事業箇所：杵築市大字杵築

事業延長：410m

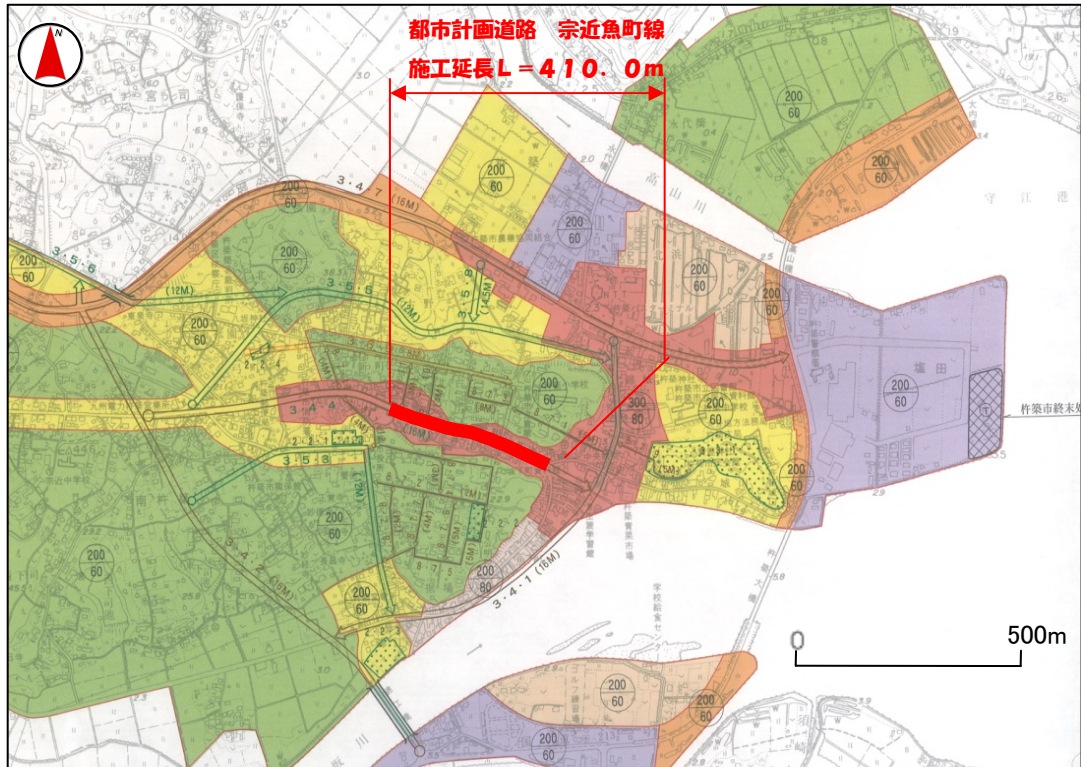
幅員：16m(2車線)

総事業費：約28億円

事業期間：平成9年～平成19年

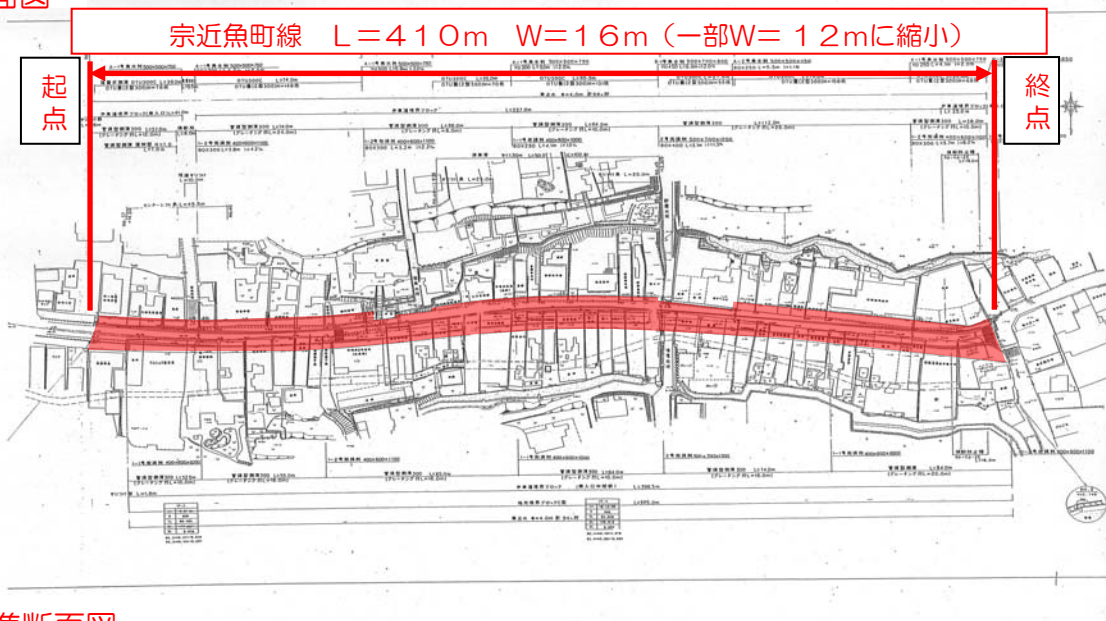
本事業は、大分県杵築市の中心部を東西に結ぶ幹線道路である。沿線は、杵築城の西方に位置し、古くは商家・町家が建ち並ぶ城下町として栄えていた。現在は、商店街が形成され、現道は狭隘で歩道がないため、自動車・自転車歩行者が錯綜し、危険な状況である。本事業により、交通の円滑化・歩者分離による自転車歩行者の安全性の確保および周辺の町並みと調和のとれた景観の構築を図る。

事業位置図

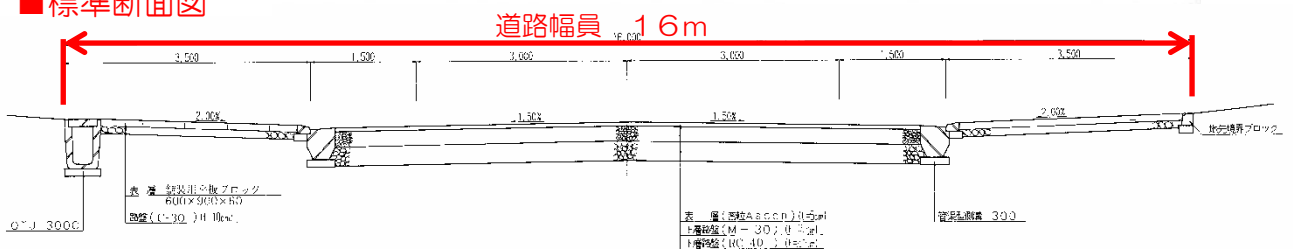


全体図(平面図・側面図・横断面図)

■平面図



■標準断面図



宗近魚町線の整備効果アピール資料

城下町 散策マップ



○事業概要

事業名: 杵築都市計画事業3・4・4号
路線名: 宗近魚町線
事業箇所: 大分県杵築市大字杵築
事業延長: 410m
幅員: 16m
総事業費: 約28億円
事業期間: H8～H19年度

○交通量調査結果

供用前 平成11年度実測
供用後 平成19年11月7日実測
・交通量の推移(12時間交通量)
宗近魚町線 2,333台 → 3,715台
◎交通量が2割増加
◎周辺観光施設の年間利用者が1割増加
H18 70,183人 → H19 79,063人

「整備効果」

○ピーク時平均旅行速度の向上

供用前 2分 → 供用後 1分

○歩道整備率の向上

供用前 55.0% → 供用後 86.3%

「その他の事業効果」

○事業区間周辺には、美しい石畳の坂で有名な「酢屋の坂」「勘定場の坂」などの名所があることから、歩道部に擬石ブロック張を施すことで、周辺のまち並みとの調和を図った。

○無電柱化(裏配線)の実施。

○沿線に歴史的建造物が点在していたため、部分的に道路幅員を縮小し建造物の保全を図った。

○歩道の整備によって観光客および地元の通勤通学者の安全な通行空間の確保に寄与した。



事業前写真

平成7年度撮影



平成14年度撮影



平成7年度撮影



事業後写真

平成21年 2月撮影

